

⑤調査海域におけるハマフエフキについて

調査の概要平瀬虎雄氏談

種苗放流の実施にあたり、現地におけるハマフエフキの分布について聞き取り調査を行った。また、種苗放流予定地の音響給餌ブイ周辺においては潜水調査、水中監視カメラ調査により現況調査を行った。

●慶良間海域におけるハマフエフキ若齢魚の分布について

慶良間海域におけるハマフエフキ若齢魚(0~1才魚)の生息状況について、漁業者から聞き取りしたところ、島の周辺各所にみられるが比較的多くみられるのは渡嘉敷島南東部(通称:ウラ)、渡嘉志久湾及び座間味島阿護の浦であるということであった(図-9)。

図-9 慶良間海域におけるハマフエフキ若齢魚の分布

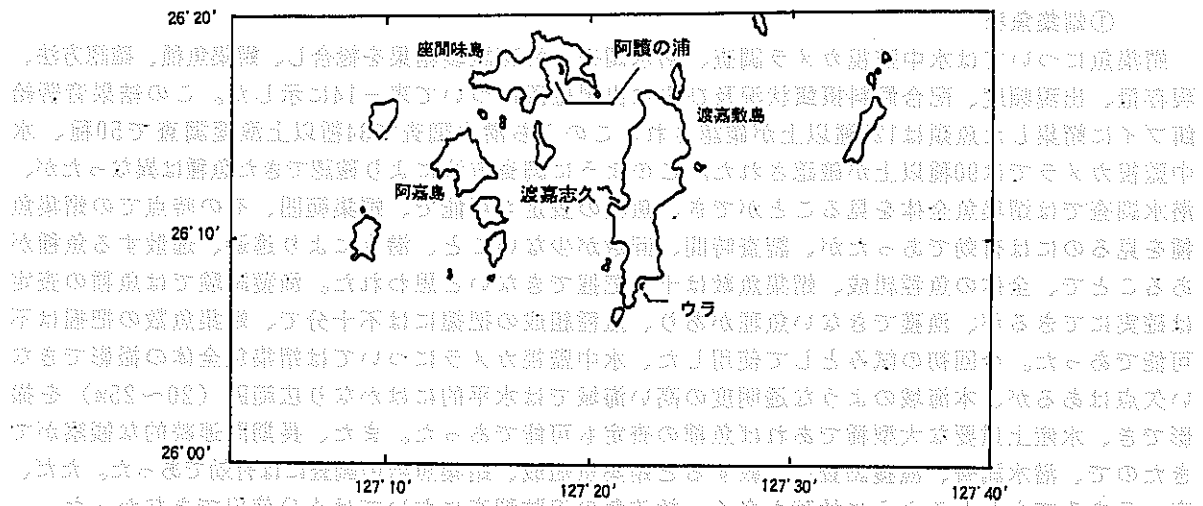


図-9 慶良間海域におけるハマフエフキ若齢魚の分布

●慶良間海域におけるハマフエフキ大型魚の分布について

ハマフエフキ大型魚についても漁業者から聞き取りを行ったところ、慶良間海域各島々沿岸域において普通にみられるほか50尾以上の群れが各所でみられ(図-10)、渡嘉志久湾南部もその一海域であるという。魚体は、1~4kgが主体で流れの緩い海域では1~2kg級が多く、速い海域では3~4kg級が主体であるという。

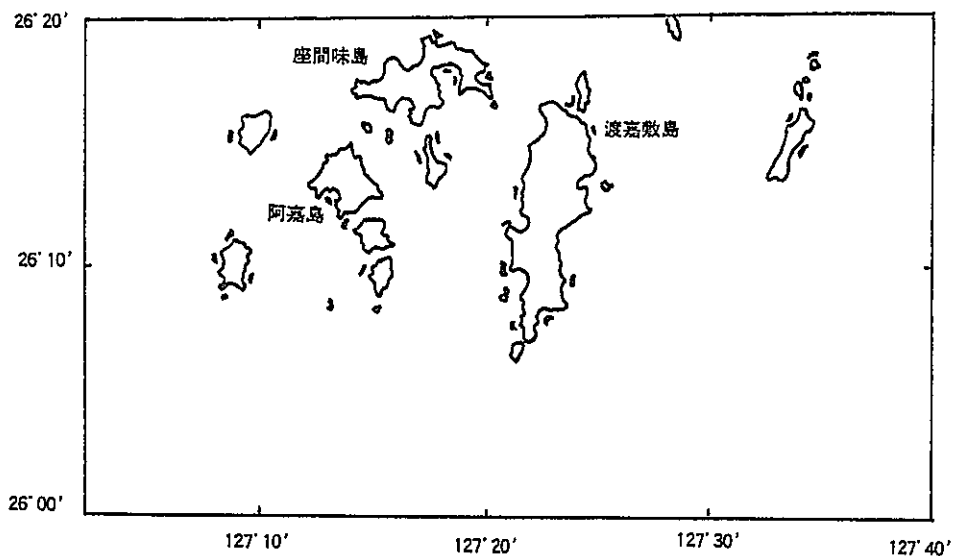


図-10 慶良間諸島沿岸域におけるハマフエフキの群の出現海域